

# 平成 29 年度 第 7 回理事会議事録

日 時:平成 30 年 1 月 20 日(土)13 時 00 分～14 時 40 分

場 所:鳥取市高齢者福祉センター 研修室

出席者:湯田範規、岡田早苗、藤原弘光、藤井和晃、先灘浩功、西村令子、那須野邦彦、

佐々木豪、山根由美、田中雅彦、吉岡 明、山岡貴子 [出席:12 名/20 名中]

欠席者:野上智、片岡憲一、中井宏衛、木下敬一郎、佐々木崇雄、下廣寿、青戸俊輔、

北野岳之(外部監事)

議 長:湯田範規、

書 記:藤井和晃

議事録署名人: 岡田早苗、佐々木豪

一般社団法人鳥取県臨床検査技師会定款第 5 章第 29 条により理事会を招集し、定款第 5 章第 31 条により理事会が成立した。

## 議題 1 報告事項(各部)

学術部(藤原弘光)

・平成 29 年度の研修会は当初 25 件計画され、すべて終了予定である。

(1 月 20 日時点で 20 件の研修会が終了)

・議案書提出部分では、渉外調査で会員専用サイトの計画部分と各施設の状況に関するアンケート調査が未実施である。

・日臨技生涯教育推進事業助成金は 13 件申請、今年度は約 40 万円の助成となる。

・学術部事業開催手順書は修正中である。意見があれば随時修正していきたい。意見があればいただければと思う。

・講師の税金支払いに関して、事務局でまとめて支払いをするとよいが、現金をどうするかなど、早急に決めていきたい。

・平成 30 年度の研修会事業計画は 21 件である。

・平成 30 年度第 1 回感染制御部門研修会はメーカーとの共催で開催したい。本理事会で承認していただきたい。支払いは講師の交通費をメーカーが支払い、講師料は当会が支払う。講師は沖縄から来られる。

(結果)基本的には承認する。プロモーションコード、日臨技助成金はメーカー共催で問題ないか、会長が確認する。

・学術部研修会について、7月に第1回ステップアップ研修会、8月 26 日に認知症研修会、10 月 20・21 日に職能向上のための臨床検査技師育成研修会を計画したい。

・平成 30 年度中四国支部・生物化学分析部門研修会を鳥取が担当する。日程は 10 月～11 月を予定。事務局含め、皆さんに協力をお願いしたい。2 月には中四国支部で情報を共有する。

・県医学検査学会について 11 月 24.25 日に中四国支部医学検査学会が開催されるので、その 2 週間前までで日程を決定したい。会場は米子市で開催する。

(結果)第一候補 10 月 28 日、第二候補 11 月 4 日、会場は鳥取大学としたい。

・事業計画はブックイングしないように学術担当者会議で協議する。

・12 月 8～10 日に職能向上のための臨床検査技師育成講習会に藤原副会長が参加。平成 30 年～33 年までの 3 年間に各都道府県技師会で開催する。内容は 600 分、実技を多く取り入れること。日臨技からは 20 万円の補助がある。30 名×2 回の研修会くらいで実施できればと思う。2 日間で実施しようとする、2 日目の終

了は 18 時頃になってしまう。

- ・1 日にナイトセミナーで実施すれば 2 日目は早めに終了できる。(岡田)
- ・ニューリーダー研修会は、木下、佐々木、先灘各理事で協議して計画してもらう。(湯田)
- ・精度管理のサポート事業について計画する必要がある。(岡田)

(結果)木下理事に企画を計画してもらう。

財務部(西村令子)

- ・計画書、予算書の 1.5 か月前を 2 か月前に変更した。
- ・基本的には 2 か月前に提出してもらい、実施後は 10 日以内に報告書、領収書を提出してもらう。
- ・2 か月前よりも 8 週前のほうがわかりやすいのではないか。(岡田)

(結果)2 か月前までを、10 週間までに変更する。

・講師料は、税金分を抜いて振り込み、事務員さんが小口現金を持っているので窓口で支払ってもらうのはどうか。(岡田)

・会員番号があっても会費未納は非会員となる。どのようにして現場で確認するか。(湯田)

・口座振替をしていない場合や、会員番号は日臨技であるため、県技師会に入会していない場合はわからない。(湯田)

(結果)後で判明した場合は、改めて参加費を請求する。

事務局(藤井和晃)

・公益目的支出計画実施完了確認修正に関して、オンラインシステム上に問題があり、当会では処理できないため、県に対応してもらうことで終了となる予定。

・平成 30 年度の総会は 5 月 27 日に実施し、終了後は総合管理部門研修会を開催する。

・次回理事会では議案書に掲載できるよう事業計画を決めてほしい。(湯田)

・理事会資料の形式であれば、すぐに作成できる。(藤原)

・計画書など一覧表の形式に変更したほうが、会員もわかりやすいのではないか。議案書は表形式、2 段枠をやめた形式に変更したい。(藤井)

・できるだけ見やすいもので各部作成してほしい(湯田)

・e-ラーニングのビデオ(USB)が日臨技から送られてきているので、宅ふぁいる便を利用して理事に配信する。

次回理事会:平成 30 年 3 月 25 日(日)

以上をもって議事を全て終了し、14 時 40 分に閉会した。

この議事が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次に署名、捺印する。

平成 30 年 2 月 11 日

議長 湯田 範規 (印)

監事 山岡 貴子 (印)

議事録署名人 岡田 早苗 (印)

佐々木 豪 (印)